



「友愛とみどりと根性の加治木小」

加治木の風

令和5年度 学校だより No.10

始良市立加治木小学校

令和6年1月12日

加治木小学校ブログ

TEL:62-3156 FAX:62-2657



「友愛とみどりと根性」の加治木小学校

～まよめの3学期 準備の0学期が スタートしました～



校長 横濱 郁代

2学期の終業式で本校のキャッチフレーズに掲げる「友愛」「みどり」

「根性」について、実践できたかどうかを子供たちに確認したところ、いずれも半数程度の児童が「できた」に挙手。もう少し多くの児童が自信をもって挙手すると思っていた私の予想と異なる結果となり、反省しています。そこで、始業式でも「友愛」「みどり」「根性」について具体的に伝え、実践していくよう呼びかけました。

学年のまよめの3学期であるとともに次年度へ向かう0学期、子供たちが進級と進学を見据えて自ら学んでいくよう、職員一同、尽力して参ります。家庭や地域でもそのような働きかけをしてくださると非常に心強く、嬉しいです。

今年の干支「タツ」、干支の中で唯一空想の生き物。小説や映画、ロールプレイングゲームにも多く登場します。縦横無尽に動くイメージは強靱なパワーを象徴し、縁起もよい生き物とされているとのこと。「友愛とみどりと根性」の加治木小学校、「タツ」の背に乗るような感じで、力強く進んでいきたいです。



「ありがとう」が広がる

加治木地区民生委員の岩重俊一さん（愛称：岩ちゃん）。12月21日の朝はサンタにふんして、正門で登校を見守りながら、子供たちに「ありがとう」メッセージを記したイチヨウの葉をプレゼントしてくださいました。

私は必ず終業式で「担任の先生にありがとうと伝えて帰りましょう。」と、声をかけます。それは、常に多くの方にお世話になっていることに気付いてほしいという思いと、担任（職員）も精一杯子供たちとともに取り組んだことを理解して欲しいという思いからです。

すると後日、職員から「子供が『ありがとう』が記されたイチヨウの葉っぱをくれました。」「『2学期ありがとうございました。3学期もよろしくお願ひします。』と書いたメモをもらいました。」と、子供からの「ありがとう」を受け取った喜びの報告を受けました。終業式の日、校長室の私に「ありがとうございました、よいお年を！」と、笑顔で帰っていく姿もありました。なんと素敵な子供たちの姿でしょう。こちらこそ「ありがとう。」です。

能登半島地震の悲惨で不条理な現実を受け止め、被災者の思いに寄り添うことに精一杯な私たちです。

子供たちに、今こそ、日々の生活や人とのかかわりの中にある「ありがとう」に気付いてほしいと思います。

